

DERWENT-ACC-NO: 1999-503858

DERWENT-WEEK: 199942

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Power conservation mechanism in mouse - turns ON power supply control switch using generator which is run by imparting turning effort of ball to it, through roller when mouse is moved

PATENT-ASSIGNEE: NEC HOME ELECTRONICS LTD[NIDF]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0019767 (January 30, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 11219257 A	August 10, 1999	N/A	003	G06F 003/033

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 11219257A	N/A	1998JP-0019767	January 30, 1998

INT-CL (IPC): G06F003/033

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11219257A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A switch (3) is provided to control the power supply input to mouse (4) from a host system (1). When the mouse is moved fully in OFF condition, ball (7) is rotated and a roller (8) delivers the turning effect to a generator (9). The generator is started and the power supply control switch is turned ON.

USE - For mouse used with host computer.

ADVANTAGE - Power conservation is achieved and resetting is done by moving mouse from fully OFF condition. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the elevation of the mouse. (1) Host system; (3) Switch; (4) Mouse; (7) Ball; (8) Roller; (9) Converter.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/3

TITLE-TERMS: POWER CONSERVE MECHANISM MOUSE TURN POWER SUPPLY CONTROL SWITCH
GENERATOR RUN IMPART TURN EFFORT BALL THROUGH ROLL MOUSE MOVE

DERWENT-CLASS: T01

EPI-CODES: T01-C02B1;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-376669

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-219257

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月10日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 3/033

識別記号

3 4 0

F I

G 0 6 F 3/033

3 4 0 C

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-19767

(22) 出願日 平成10年(1998) 1月30日

(71) 出願人 000001937

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社
大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号

(72) 発明者 今西 奨

大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号
日本電気ホームエレクトロニクス株式会社
内

(72) 発明者 天野 秀之

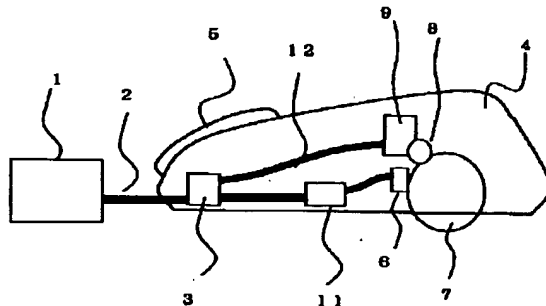
大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号
日本電気ホームエレクトロニクス株式会社
内

(54) 【発明の名称】 マウス装置

(57) 【要約】

【課題】 使用者が意図せず、完全OFF状態にある省電力マウスを通常状態に復帰させる方法を提供。

【解決手段】 完全OFF状態にあるマウス4を使用者が単に動かすだけで、ボール7が回転し、ローラー8が発電機9に動力を伝え、この発電機9により動力を電力に変換し、この電力11によりスイッチ3がONになり、ホストシステム1からの電源がマイコン10に供給され、通常状態に復帰することが可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 省電力マウスにホストシステムから入力される電源と、この電源のON/OFFを制御するスイッチと、マウスに内蔵された回転ボールと、このボールに隣接し設置された発電機と、この発電機と上記回転ボールの回転力を受渡するための回転機構を有するローラーとで構成され、上記ボールを回転させて、上記発電機を起動し、かつ電力を送出して上記スイッチをONにすることを特徴とするマウス装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、省電力マウスに於て、特に完全OFF状態にあるマウスを発電機を利用し、使用者が意図せずに通常状態に復帰する方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の省電力マウスの復帰方法を図3を用いて説明する。図3に示すように、マウス4はホストシステム1より電源ライン2を通し、マイコン11に供給され、さらにボール7の縦横方向の動きをカウントするためのセンサ6に、マイコン11に内蔵されているスイッチ10を通し供給され、スリープモードは、マイコン11がこのスイッチ10だけをOFF状態にし、メカニカルスイッチ5を使用者がスリープモードから「復帰させる」という意図のもとに押下され、この状態を監視しているマイコン11により通常状態へ復帰していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従って、従来の省電力マウスは、スリープモードにあるとき、常にメカニカルスイッチ5を監視するための電力がマイコン11に必要であり、使用者が意図的にメカニカルスイッチ5を押下しない限り、通常状態に復帰することができなかった。

【0004】そこで、本発明の目的は、完全OFF状態にあるマウスを、使用者が意図しなくとも通常状態に復帰する方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述の課題を解決するために、本発明の復帰方法は、省電力マウスにホストシステムから入力される電源と、この電源のON/OFFを制御するスイッチと、マウスに内蔵された回転ボールと、このボールに隣接し設置された発電機と、この発電機と上記回転ボールの回転力を受渡するための回転機構を有するローラーとで構成され、上記ボールを回転させて、上記発電機を起動し、かつ電力を送出して上記スイッチをONにすることを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】次に、本発明の一実施の形態によるマウス装置を図面を参照して説明する。

【0007】図1は、本発明の一実施の形態によるマウス装置を示すシステム構成のブロック図である。

【0008】本発明の一実施の形態によるマウス装置は、図1に示すように、省電力マウス4にホストシステム1から入力される電源2と、この電源2のON/OFFを制御するスイッチ3と、マウス4に内蔵された回転ボール7と、このボール7に隣接し設置された発電機9と、この発電機9と上記回転ボール7の回転力を受渡するための回転機構を有するローラー8とで構成され、上記ボール7を回転させることにより、上記発電機9が上記ローラー8を介して動力を電力に変換し、この電力12により上記OFF状態にあるスイッチ3をONにする。

【0009】次に、本発明の一実施の形態によるマウス装置を図面を参照して説明する。

【0010】本発明の一実施の形態によるマウス装置は、図1に示すように、完全にOFF状態にある場合でも、マウス4自体を動かすことにより、ボール7が回転し、これに接しているローラー8が発電機9に動力を伝え、この発電機9が動力を電力に変換し、この電力12がスイッチ3をON状態にし、通常状態に復帰することが可能となる。

【0011】図2は、本発明の一実施の形態によるマウス装置を示す構成図である。

【0012】図2に示すように、完全OFF状態にあるマウス4を使用者が単に動かすだけで、ボール7が回転し、ローラー8が発電機9に動力を伝え、この発電機9により動力を電力に変換し、この電力11によりスイッチ3がONになり、ホストシステム1からの電源がマイコン10に供給され、通常状態に復帰することが可能となる。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の省電力マウスの復帰方法によれば、ホストシステムの電源と省電力マウスとの間にスイッチと、ボールの動力を利用した発電機を設けてあるため、完全にOFFにした状態から、使用者が通常状態に戻すことを意図せずともマウスを動かすだけで復帰するという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態によるマウス装置を示すシステム構成のブロック図である

【図2】本発明の一実施の形態によるマウス装置を示す構成図である。

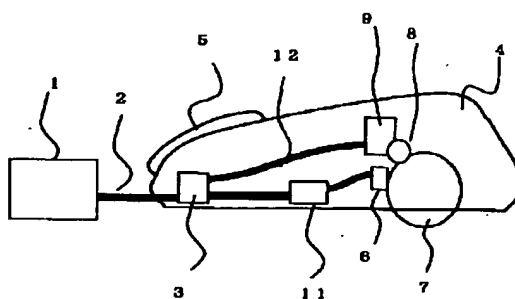
【図3】従来の省電力マウスの復帰方法を示すシステム構成のブロック図である。

【符号の説明】

- 1 ホストシステム
- 2 電源
- 3 スイッチ
- 4 マウス
- 5 メカニカルスイッチ
- 6 センサ

10 マイコン内蔵スイッチ
11 マイコン
12 電力

【図2】



【図3】

